



2018年9月14日  
東日本旅客鉄道株式会社  
八王子支社



## 青梅線が変わります



### ～東京アドベンチャーライン始動！～

JR東日本では、青梅線の青梅～奥多摩間に新たに「東京アドベンチャーライン」の愛称とロゴマークを設定し、自然の中で、アウトドア・アクティビティを楽しむ路線としてPRを開始します。今後は御嶽駅・奥多摩駅をアウトドア拠点としてリニューアルするほか、ヘッドマークを取り付けた電車の運行、地元と連携したPRなど、地域の皆さまと一体となって「東京アドベンチャーライン」を盛り上げます。

## 1 新愛称「東京アドベンチャーライン」とロゴマークの設定

(1) 「東京アドベンチャーライン」について ※JR時刻表10月号(9/20発売予定)から路線図に併記します。

### ① 区間

青梅線の青梅～奥多摩間

### ② エリアの特徴

新宿から奥多摩まで快速で90分、首都圏でありながら、気軽に自然の中で、アウトドア・アクティビティを楽しむことができ、どなたでも冒険に踏み出せるエリアです。

### ③ 愛称の由来

駅を降りてすぐに本格的な自然やアウトドアを楽しめる青梅線の魅力を「アドベンチャー」というワクワクする言葉で表現し、さらに「東京」を組み合わせることで東京都の一部である身近さ、アクセスの良さを強調しています。

(2) ロゴマークについて

### ① ロゴマークの決定

青梅線に縁のあるクリエイターからデザインを募集し、地域の皆さまとJR東日本八王子支社の投票により選出しました。



【制作者】沼倉智弓(ぬまくらさとみ)様

【プロフィール】

小学生2児の母。青梅市在住。消しゴムはんこインストラクター、おもちゃコンサルタント、糸の作家としてワークショップ開催、イベント出店などを行う。フリーのグラフィックデザイナーとしても活動中。

【青梅線への思い】

青々とした山々は近く、広い空が広がり、そこに住む人たちの温もりが魅力の青梅線。そんな思いと愛情をこめてロゴを制作しました。

【作品コメント】

青梅と奥多摩間の車内からの景色や電車自体を楽しむ、というイメージで制作しました。

② ヘッドマークを取り付けた列車の運行について

ロゴマークをヘッドマークに付けた列車を運行します。

掲出期間：10月13日（土）～当面の間

掲出車両：ラッピング列車2編成（E233系）

※1編成で運行開始。残り1編成についても10月中に運行開始予定

走行区間：立川～奥多摩間 ※走行区間は変更する場合があります。

運行計画：公式Facebook、Instagramにて公開

【Facebook】 <https://www.facebook.com/jr.omeline/>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/jr.omeline/>

※「東京アドベンチャー、青梅線。」から「東京アドベンチャーライン 青梅線」へアカウント名を変更（10月1日以降）



(イメージ)



(3) ロゴマークの展開について

各種宣伝物で愛称およびロゴマークをお知らせしていきます。

(宣伝物の一例)



【青梅線・五日市線の旅】

※首都圏の駅にて掲出



【八王子支社ホームページ】



【のぼり旗 (イメージ)】



【缶バッジ (イメージ)】

2 「東京アドベンチャーライン」キックオフ記念旅行商品「東京アドベンチャーツアー」の発売

西多摩観光創出事業「Wild Tokyo プロジェクト」メンバーとのコラボレーションにより、思いっきりアドベンチャーを楽しむ日帰りツアーを発売します。

日 程：11月3日（土・祝）、4日（日）

概 要：「お座敷青梅 奥多摩号」で行く、御嶽・奥多摩 ADVENTURE TOUR

- ・御嶽コース お座敷列車で行くラフティング 半日体験&御岳山ハイキング
- ・奥多摩コース お座敷列車で行く奥多摩ハイキング&氷川キャンプ場BBQ

定 員：各コース23名 計92名（最少催行人員 各13名）

販売方法：首都圏の主な駅にあるびゅうプラザ（旅行カウンター）

電話（びゅうトラベルサービス 大人の休日予約センター）

インターネット（「日本の旅、鉄道の旅」 <https://www.jrview-travel.com/>）

料 金：「御嶽コース」 旅行代金：14,900円（大人ひとり）14,400円（小学生ひとり）

「奥多摩コース」 旅行代金：9,900円（大人ひとり）9,400円（小学生ひとり）

※詳しくはパンフレット（9/19 掲出開始）をご確認ください。

【Wild Tokyo プロジェクトとは】



「Wild Tokyo プロジェクト」とは、都内・アウトドアフィールドで様々なアクティビティ、グルメ、体験を提供する観光事業者たちによるネットワークの総称です。



### 3 御嶺駅・奥多摩駅をアウトドア拠点としてリニューアル

御嶺駅・奥多摩駅は、現在の駅舎の魅力を活かしつつ、多摩産木材を使用しリニューアルします。リニューアル後は、御嶺駅にレンタサイクルや待合室が、奥多摩駅には待合室のほかに、靴洗い場や更衣室・カフェなどがオープンし、「東京アドベンチャーライン」のアウトドア拠点として、便利にご利用いただけるようになります。

※詳細は後日、改めてお知らせします。



【現在の御嶺駅外観】



【現在の奥多摩駅外観】

### 4 青梅・奥多摩もみじ協定との連携～「奥多摩 もみじ 大爆発!!」～

沿線の観光協会や商店組合等が紅葉のPRを目的に締結した「青梅・奥多摩もみじ協定」。協定では、「奥多摩 もみじ 大爆発!!」をキャッチフレーズに、エリア全体で連携して紅葉をPRします。

JR東日本では、青梅・奥多摩もみじ協定と連携し、ポスターを掲出するほか、エリア情報誌「青梅線・五日市線の旅 秋号」での特集、立川駅での観光PRを実施します。また、地元では「東京アドベンチャーライン」ロゴマーク入りの横断幕でお客さまをお出迎えします。

【青梅・奥多摩もみじ協定観光キャラバン】

日 時：10月13日（土）・14日（日）13：30～15：00

場 所：びゅうプラザ立川駅前

参 加 者：青梅・奥多摩もみじ協定参加団体

内 容：各所で開催の紅葉まつりおよび観光スポットのPR

【青梅・奥多摩もみじ協定とは】

青梅線沿線は標高差があり、10～12月を通して紅葉が長く楽しめることから、エリア全体で連携して紅葉をPRするために沿線の観光協会や商店組合等が連携して紅葉をPRすることを定めた協定です。



【ポスターイメージ】



【横断幕イメージ】

### 5 「第80回記念奥多摩渓谷駅伝競走大会 supported by 東京アドベンチャーライン」への協賛

今年で80回目の開催となる奥多摩渓谷駅伝競走大会へ協賛し、大会を盛り上げます。

【大会概要】

日 程：12月2日（日）

コ ー ス：一般の部、大学の部、高校の部（44.8km）、  
女子の部、支会・自治会の部（11.1km）、  
中学生の部、小学生の部（6.8km）

主 催：青梅市、青梅市陸上競技協会

協 賛：参加賞「東京アドベンチャーラインウォーター  
奥多摩天然水」（500ml ペットボトル）の提供等



【参加賞イメージ】



【ポスターイメージ】